

明石

■明石総局
 〒673-0882
 明石市相生町2-10-24
 TEL…078-912-4343
 FAX…078-913-2833
 e-mail
 akashi@kobe-np.co.jp

■本社報道部
 〒650-8571
 神戸市中央区
 東川崎町1-5-7
 TEL…078-362-7040
 FAX…078-360-5501
 e-mail
 houdou@kobe-np.co.jp

桜の管理学ぶ講習 明石公園で25日

「日本さくら名所100選」にも選ばれている明石市の明石公園で25日、桜のせん定や管理などを学ぶ「第1回桜守講習会」が開かれる。同公園で桜の樹勢

回復に取り組み樹木医が講師を務め、正しい知識や技術を身に付ける。

同公園は約千本の桜が楽しめ、春には多くの花見客でにぎわう。園内には樹齢60年を超える桜も多く、現在は生育状態の改善にも力を入れている。

講習会は、桜の適切な管理方法を知ってもらうと、同公園を管理する県園芸・公園協会とNPO法人

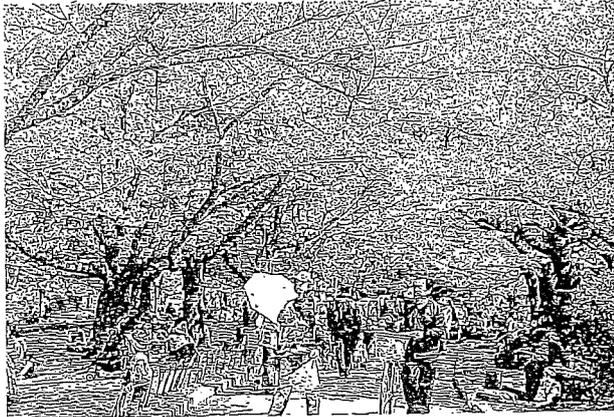
県樹木医会が主催。今後も同公園内の桜を使った実践的な講座を開催し、ボランティアでせん定などを担う「桜守」の育成につなげた

いという。初回は午後2〜4時。定員25人で先着順。参加費は無料。同公園 ☎078・912・7600 (奥平裕佑)

100年咲き誇る千本桜に

県は、県立明石公園(明石市)の樹齢60年を超える千本桜の「若返り大作戦」に乗り出している。「日本さくら名所100選」にも選ばれているが、近年は花付きが悪く、開花期間が短くなっているためだ。改めて手入れして、成長を阻害する要因を取り除くことで、樹齢100年まで華やかに咲き誇る名所を目指す。(近藤修史)

名所100選・明石公園



●書には多くの花見客が訪れる県立明石公園の「千本桜」(2015年4月) ●樹勢が弱まった桜。開花時期でも花が付かずに枝だけの部分が目立つ。いずれも県園芸・公園協会提供

剪定や肥料やり ボランティア養成

公園を管理する県園芸・公園協会によると、明石公園の桜は昭和30年代にかけて植えられた。ほとんどがソメイヨシノで、公園内の剛ノ池や明石城跡周辺などに咲き、開花時期の週末には1日で1万人以上の花見客が訪れる。県内では姫路城(姫路市)、夙川公園・夙川河川敷緑地(西宮市)とともに、公益財団法人・日本さくら会の名所100



0選に選ばれている。しかし近年は樹勢の衰えが見られ、満開の期間は2000年代には6日間あったが、昨春はわずか2日間にとどまった。樹木医に委託して16年度に実施した調査では、公園内の1014本のうち、98%にあたる995本が弱ってきていると診断された。

これまで人手や予算の不

足で、特別な手入れはほとんどされてこなかったが、危機感を募らせた県は、公園内の明石城が、来年築城400年を迎えることもあり、昨年6月頃から対策を講じ始めた。

対策では、J.R明石駅寄りの公園南側を中心に、枯れ枝を剪定し、日当たりを悪くしている周囲の樹木を伐採。多くの花見客が根元を踏むことで土が硬くなり、根の生育を悪くしているため、空気で砂を掘る「エアスコップ」で土をほぐし、肥料を与えるなどしている。

手入れに力を貸してもらおうと、ボランティアの養成も始めた。現時点で既に約20人が集まっており、4月以降、枯れ枝を切るなどの作業を手伝ってもらう予定だ。

若返り作戦とともに、改めて名所をPRしようとして、開花時期に合わせた夜間ライトアップも検討中。同協会業務部の藤原秀明次長は「手入れの成果はすぐには表れないが、徐々に回復してくれるはず。樹齢100年を超えても美しい桜が見てもらえるよう、未永く守っていきたい」としている。

神戸 明石

姫路 ○ 三田 ○ 阪神 ○ 神戸 ○

洲本 ○

明石

■明石総局

〒673-0882
明石市相生町 2-10-24
TEL…078-912-4343
FAX…078-913-2833
e-mail
akashi@kobe-np.co.jp

■本社報道部

〒650-8571
神戸市中央区東川崎町 1-5-7
TEL…078-362-7040
FAX…078-360-5501
e-mail
houdou@kobe-np.co.jp

桜の植樹手順など学ぶ

明石公園で講習会 樹木医が指導



桜の植樹方法などを学んだ受講者ら＝明石公園

桜のせん定や管理方法などを学ぶ「桜守講習会」がこのほど、明石市の明石公園で開かれた。昨年7月から始まった講座(全7回)の最終回で、受講した男女16人は樹木医から植樹の手

順などを学び、知識を深めていた。

桜の正しい管理方法を身に付けてもらおうと、同公園を管理する県園芸・公園協会とNPO法人県樹木医学会が主催。毎月1回程度、桜の害虫対策や枝のせん定方法などを学んでいた。

1月下旬にあった最終回では、座学後に同公園内で実習があり、参加者たちは桜の苗木の植え付けに挑戦。樹木医にアドバイスを受けながら、支柱を取り付けたり、水をやりたりしていた。

実習後、樹木医を交えた

座談会もあった。活動を振り返り、受講生らが情報を交換。神戸町から参加した吉岡一さん(69)は「専門家から直接、話が聞けて非常に勉強になった。家の植木や地元の桜並木も弱っているの、少しでも学んだことを生かせれば」と話していた。(奥平裕佑)